

このゆびと～まれ



兵庫県立西はりま特別支援学校
西はりプロジェクト

心地よい秋風が感じられる季節となりました。本校の中庭には赤とんぼがたくさん訪れ、秋の訪れを感じさせます。寒暖差が大きい季節ですので、しっかりと体調管理をしながら元気に過ごしていきたいものですね。

今回は、8月27日に行われた「第1回伊和高等学校合同研究会並びに特別支援教育西播磨地域連携研修会」について報告します。県立伊和高等学校と本校との共催で実施しました。参加して下さった先生方、ご協力いただいた先生方ありがとうございました。



<内容>

- ①県立高等学校の先生方による実践報告「連携シートの活用状況」
- ②グループセッション
「ライフステージが変わる時に引き継いでもらってよかった事例」
「引継ぎを保護者が承諾しないケースで話し合いの上 上手く引継ぎできた事例」
- ③講演及び指導助言「小中高連携の現状と課題」



大谷大学 文学部 准教授 井上 和久先生



「研修会中の様子 本校 会議室にて」



「えんたくんを使用 グループセッション中の様子」

えんたくんとは？



えんたくんってどんなもの？

グループセッションでは「えんたくん」を使用しました。「えんたくん」は三ヶ日紙工から販売されている直径1mほどの円形の段ボール板です。段ボール板の上には同じ大きさの紙を重ね、そこに話し合ったことを書き込みながら使用します。



どんな時に有効なの？使い方のポイントは？

えんたくんは「対話促進ツール」で参加者同士が話し合い、お互いから刺激を受け、学びあったり新しいアイデアを発想するなど、「共有」や「拡散」の場で有効です。

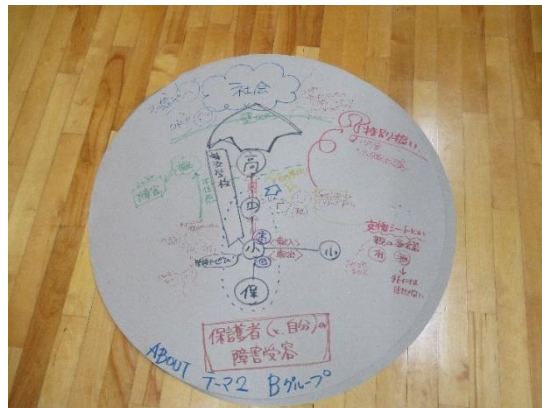
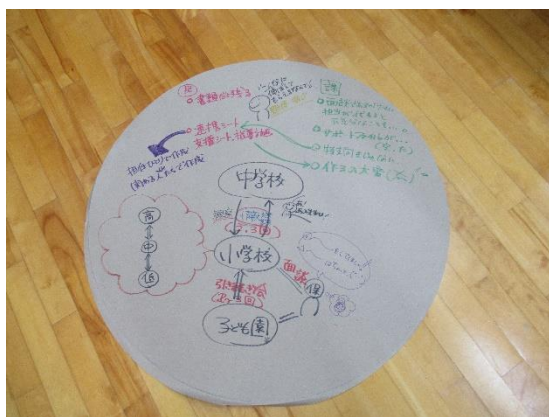
<えんたくんを上手に使うポイント>

- ①参加者に「よく聴こう、短く話そう、言葉を書き留めよう」の3つのルールを伝える。
- ②書き留める言葉はグループで共有できるよう大きく気楽に書く。

(引用・参考:「えんたくん革命」)



こちらが、今回の研修で出来上がった「えんたくん」です。



<えんたくんを使用してみて感じたこと>

- ・円形なので、なんとなく柔らかい気持ちになる!話が弾む感じがする。
- ・えんたくんを囲むことで参加者同士が程よい距離感を取れる。ソーシャルディスタンスにもなる。
- ・まだ、話しながら書くことに慣れないけれど、回数を重ねたら、もっと上手く使えそう。



今回は川嶋直 中野民夫 著「えんたくん革命」株式会社みくに出版から参考、引用させていただきました。